



ひゅーまんらいつ

第47号 平成16(2004)年9月

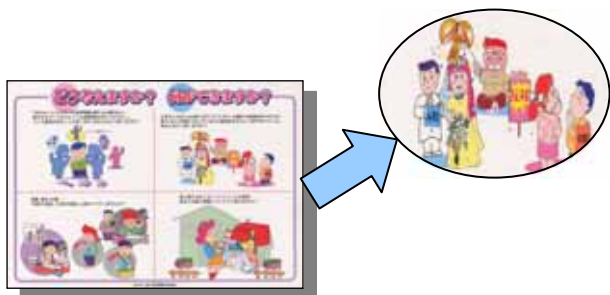
人権・同和教育 小地域懇談会

「小地域懇談会」ってどんなもの？ なぜしているの？

「小地域懇談会」について、一緒に考えてみましょう。

● どんなもの？

大人になると、学校で勉強する子どもと違い「人権問題」を学習する機会が、そう多くあるわけはありません。もちろん、ご自分で本を読まれたり、PTAや公民館、企業での研修で熱心に学習される方々もおられますが、日々の忙しい暮らしのなかで、「大事なことは分かっているけど、なかなか考えれんわ・・・」というのが、正直なところではないでしょうか。



小地域懇談会で使用する学習資料の一例

そこで、米子市では自治会単位で「人権・同和教育小地域懇談会」を開催していただき、普段なかなか学習の機会がない方々にも参加していただいています。

小地域懇談会では、差別をなくしみんなが幸せに暮らせるために、私たちが知っておいた方がいいことや、暮らしの中で出会う様々な場面でどういった行動ができるかなどについて、みんなで話し合いながら、考えていただいています。そのなかで、自分を振り返っていただければと思います。

● 人権問題はむずかしい！？

「人権」と聞くだけで「むずかしい」とか、「研修」は「面倒くさい」とも、直感的に思われる方もいらっしゃるでしょう。しかし本当に、どこか遠い違う世界の話や、自分には関係ない話なのでしょうか。

例えば、あなたは女性だからとか、男性だからという理由で、理不尽な思いをしたことはありませんか？ また、被差別部落の方々に対する差別は、結婚への反対や、市内で発生した差別落書きのように、まだまだ現実としてあることを知っておられますか？

米子市にある人権に関わる問題や、自分の周りにある様々な問題を知ることを積み重ねが、自分のなかの人権問題を考えることにつながり、明日からの暮らしを豊かにするヒントになるのだと思います。「学習」には、そんな大きな力があるのです。

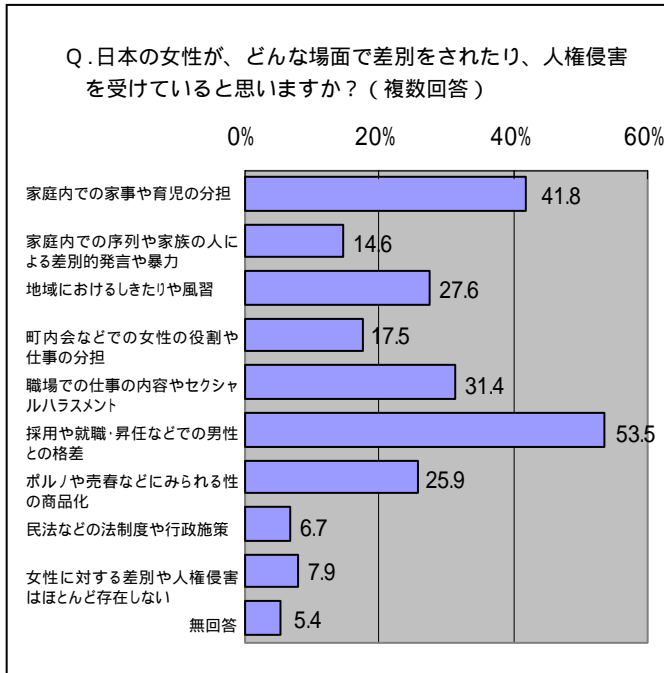
小地域懇談会は、市内各地区人権・同和教育推進協議会はもちろん、開催自治会、公民館の皆さんのご協力で開催しています。市内には約370自治会がありますが、3年程度で全体を一巡しています。「人権」を考えることができる貴重な機会として、ぜひ参加をしてみてください。



市民意識調査から見えるもの

米子市では、平成 15 年 2 月に人権・同和問題に関する市民意識調査をおこないました。その結果について、これから何回かにわたって紹介していきます。

「女・男」のまえに、一人の人間として



「女性差別」と一言でいいますが、米子市民は、「採用や就職・昇任などでの男性との格差」と「家庭内での家事や育児の分担」において、特に強く女性の人権が侵害されていると感じているようです。

女性が「女性」という理由だけで、個人の特性を無視され、職場で不当な扱いを受けたり、家庭や地域において男性と異なった役割を負わされていることは、今までの日本社会が、男性中心の考え方に基づいていたことの現われの一つです。

しかし、「男だから・・・」とか「女だから・・・」という前に、今までの役割意識にとらわれることなく、私たちは一人の人間として、趣味や仕事、家庭において、興味・関心のあることに打ち込み、能力が発揮できる、そんな社会をつくるために、私たち一人一人に、何ができるか考えてみましょう。

（同和問題啓発誌「心ゆたかに」8月号より）

よなごの人権フォーラム'04

暮らしにいかそう！人権

人権情報センターでは、今年も「よなごの人権フォーラム」を開催します。

今年のテーマは「暮らしにいかそう！人権」。

市内で活動しておられる方々のメッセージから、人権を見つめなおすヒントを一緒に考えてみませんか。

日時 2004年12月12日（日）
午後1時30分から4時30分まで

会場 ふれあいの里 大会議室（米子市錦町1丁目139-3）

《お願い》会場には駐車場がありません。
周辺に有料駐車場がありますが、主催者側では対応できませんのでご了承ください。
なお、市役所有料駐車場に駐車された方には、無料手続きをいたします。



お詫び
「今月の本棚」はお休みさせていただきました。



米子市人権情報センター（人権政策課内）
URL：<http://yonago-city.jp/jinken/>
米子市東町161-2 0859-37-3183 Fax0859-37-3184



講演（60分）

講師 江嶋 修作さん（解放社会学研究所長）
演題「暮らしに生かそう、人権」

シンポジウム（100分）

コーディネータ 江嶋 修作さん
パネリスト 植村 ゆかりさん
（米子市手をつなぐ育成会 会長）
小山 透さん
（児童自立援助ホーム
ピアホーム ホーム長）